

# 浅井町 ふれあいたより



第114号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 令和4年6月1日 発行  
 発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)  
 ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

## 令和4年度浅井町地域づくり協議会組織図



## 令和4年度地域づくり協議会役員を紹介



今年度の地域づくり協議会の役員です。地域づくり協議会での役職については、上記の組織図を参照してください。

前列右から、加藤民児協会長、森連区公民館長、大野地域づくり会長、足立連区長、井上地域づくり副会長、栗本地域づくり相談役  
 後列右から古田浅井町出張所長、澤田副連区長、川原副連区公民館長、野田長寿会長、柴山副連区長、高山児童育成会長、岩田企画広報委員長

## 【 共感力を育てる 】

一宮市立浅井中小学校 校長 高木 千豊

本年度の浅井中小学校は、新たに新生 41 名が加わり、全校児童が 311 名のスタートとなりました。昨年度の児童数から、28 名が減少しました。



また、新型コロナウイルス感染拡大については、これまで以上

に心配な状況のなかでのスタートを強いられました。学校では、これまでの経験を生かし、With コロナをめざして、行事などに取り組んでいけるよう努力してまいります。

本校の教育目標である「健・美・考」は開校以来のもので、健：健康でしんぼう強い子 美：美しくあたたかい心をもつ子 考：よく考え進んで勉強する子をめざしています。

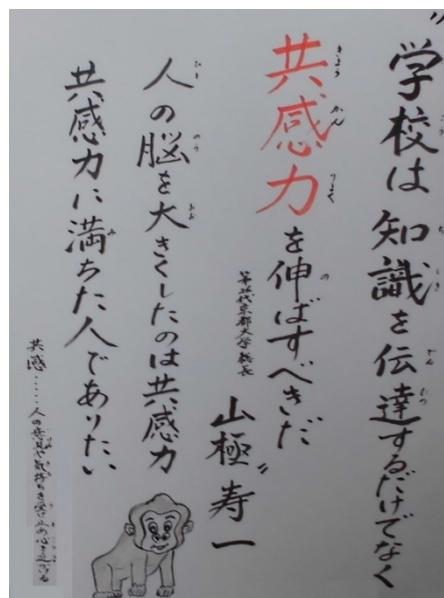
4月、5月にかけて、身体測定、内科検診、眼科検診、耳鼻科検診、心電図、尿検査・・・、全国学力学習状況調査、知能検査・・・とさまざまな検診や検査が行われています。

めまぐるしく科学技術が進歩しているなかで、「しんぼう強い子」「あたたかい心をもつ子」「進んで勉強する子（嫌なことやつらいことに対して逃げることなく、前向きにがんばろうとする子）」などの心を検査し、数値化する検査はありません。人の心はとてつもなく器が大きく、測定しきれない大きさになる人がいるからでしょうか。測定しきれない大きな心を育てるために、私たち教師は、病気をして病院へ行くと、患者の目をしっかりとみて問診・聴診器を当てる医師の役割をしなくてはなりません。

どんなに科学技術が進んでも、子どもたちの心を受け止め、心を育てていくことを忘れない教師でありたいものです。そのため、4月の年度初めに職員に向けて、「子どもたちをよくみてほしい。子どもたちの目のなかの悲しみに寄り添える教師でいてほしい」と依頼をしました。

学校で伸ばしたい力を、第26代京都大学総長 山極寿一先生は、以下のように述べています。

人類は、チンパンジーとの共通祖先から分かれて、700 万年が経過しています。その 700 万年の中で最も大きな「創造の爆発」と呼べるものは、「言葉」の登場なのです。「言葉」を喋り始めたことによって、我々はさまざまなことを創造できるようになりました。しかし、「言葉」の登場が、人間の脳を大きくした原因ではないのです。「言葉」の登場よりもずっと前に、人間の脳は現代の脳の大きさになっていたのです。現在、ゴリラの脳は人間の 3 分の 1。人間の脳は、200 万年前までゴリラの脳の大きさの 500 cc 以下でした。ところが 200 万年前から徐々に脳が大きくなり始めて、40 万年前に現在の 1400cc に到達しました。だから脳を大きくして、のちに「言葉」が出てきたこととなります。



脳を大きくした原因は、「共感力」の高まりなのです。「共感力」は何によって得られたかということ、人々との付き合いからで、仲間の数を増やし、社会的な複雑さが高まったことによって、脳容量が増す必要があったのです。おそらく人間は、そのときに仲間の心を読むだけではなくて、いろんな自然界の出来事を「共感力」によって、読み解くという能力を手に入れ脳を発達させたようです。

脳の発達のため、学校では知識を伝達するだけでなく、人との付き合いから「共感力」を伸ばしていきたいと思っています。今年度も学校に対して、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

本校ウェブサイトでは、日々子どもたちの様子を配信しています。携帯電話やスマートフォンでも見るができますので、ぜひご覧ください。

URL : <http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/~azaina-e/>



## 地域づくり協議会期首総合会議



4月19日(火)に令和4年度地域づくり協議会の総会が開催されました。組織の変更により出席者は従来の約半分くらいでしたが、内容は例年どおりで、本年度の事業の取り組み方針、各委員長からの活動計画の発表後、各委員会に分かれて、活動内容の協議を行いました。最後に、正副連区長と安心安全委員長により6月5日の防災訓練についての打合せを行いました。

## 社会福祉協議会浅井支会総会

4月19日(火)に令和4年度社会福祉協議会浅井支会評議委員会(総会)が開催されました。コロナ対策として例年より出席者を絞って、理事、町会長、民生児童委員での開催となりました。



## 浅井公民館総会



4月26日(火)午後7時より、久しぶりに勢ぞろいした執行部役員と公民館担当委員による浅井公民館の総会が開催されました。冒頭に森連区公民館長より、「この2年間は8, 9割の事業が中止になりましたが、本年度は、感染症対策をしながら、例年に近い行事

を開催します」と力強い挨拶がありました。引き続き、魅力ある地域づくり部、家庭学習部、成人学習部、女性学習部、体育レクリエーション部、スポーツ推進委員、視聴覚学習部の各部長より本年度の行事予定の発表がありました。



公民館執行部役員

## お詫びと訂正

5月号に掲載しました令和4年度の町会長さんのお名前が一部間違っていました。申し訳ございませんでした。下記のとおり訂正致します。



## 第 66 回児童福祉大会



5月8日(日) 浅井中小学校にて第66回児童福祉大会が開催されました。

初夏を感じさせるような爽やかな青空の下で、子ども229名、大人115名、来賓5名の参加がありました。新型コロナウイルス感染前までは、浅井町内の子ども会が一堂に会して行われていましたが、今年は感染予防として、競技の開始時刻をずらしての分散開催となりました。

今回は低学年でも安心して参加して楽しめるようにと、執行部役員が何度も話し合いを重ねて、縄跳びと靴飛ばしを組み合わせた競技を考えました。そして競技を終えた子どもたちは、くじ引きをして、お菓子をもらっていました。

屋外で子どもたちの元気な声や笑い声を聞く児童育成協議会の行事は2年振りです。久しぶりの楽しい福祉大会となりました。

## 地域づくり企画広報委員の紹介

令和4年度の企画広報委員会のメンバーを紹介します。

前列左から、栗本和徳相談役、昨年度の連区長の岩田和之広報委員長、大野史郎会長、公民館から岩田喜七さん、児童育成協議会から紅一点の川路尚子さん

後列左から、AVの会から吉田義光さん、町会長会から尾関誠吾さん、AVの会から佐々木秀人さん、町会長OBの尾関克彦さん



この9人のメンバーで、毎月発行の「ふれあいたより」の記事取材、編集、仕分け、ホームページの管理運営という日常業務に加え、地域づくり協議会の新しい事業の企画、実施、また各種会議の記録作成等を行っていきます。皆様方のご協力とご支援を宜しくお願いします。

## 浅井町連区防災訓練について

- 日時 令和4年6月5日(日)午前9時～12時
- 場所 浅井南小学校、浅井中小学校、浅井北小学校
- 訓練内容 避難者の受付訓練・・・コロナウイルス感染防止策  
避難所設営訓練・・・ワンタッチパーテーション・ダンボールベットの組み立て及び収納  
救急救命訓練・・・AEDの操作訓練
- 参加者 各町内4名の参加で、1小学校区合計40名程度

## 6月の行事予定

- 5日(日)浅井町連区防災訓練
- 11日(土)児童育成スポーツ大会
- 22日(水)ホームページ研修①
- 24日(金)ホームページ研修②
- 9日(木)地域づくり役員会
- 19日(日)グランドゴルフ大会
- 23日(木)学校外協力委員会